

社団法人日本広告写真家協会
平成16年度事業計画書・収支予算書

(平成16年4月1日から平成17年3月31日まで)

会長：藤井秀樹
副会長：安達洋次郎
副会長：長友健二
事務局：事務局員5名
事務所：本部事務局
東京都中央区築地
2-11-3 ヒロシゲビル4F
支部事務部
東京・大阪・名古屋
福岡・札幌・仙台
会員数：1,128名
(平成16年4月1日現在)
【正会員：929名】
【特別会員：29名】
【賛助会員：170名】
(法人63名・個人107名)
創立：1958年6月27日
法人設立：1989年12月4日

平成16年度（第16期）事業計画書

1. 総務に関する件

1. 会議の合理的開催を図る。

通常総会、理事会、幹部会等の準備運営と共に合理的開催を図る。

2. 業務事務形態の整備

① 業務事務を遂行するにあたり、現諸規定の見直し及び整備をし、より合理的に業務・事務の進行を促進し、意思伝達の精度向上を目指す。

② 理事会、幹部会及び各会議の内容を迅速に会員へ伝達するために事務組織の強化に努める。

③ 支部事務の合理化と、より密接な連絡、事務作業の効率化を検討する。

④ 名簿の発行をする。

⑤ 会員

証の発行をする。

⑥ 事務局の一層の強化を計り、担当委員並びに正会員スタッフの負担減を目指す。

⑦ 平成12年12月1日閣議決定に基づき公益法人の業務・財務等に関する資料をウェブサイト上で情報公開をする。

⑧ A P Aが職能団体であることの啓蒙活動を行い、広告写真家としての技量と実績を持つ者の入会を促進する。

⑨ 本部事務局を移転し、I T化拡充・ウェブの活用を図る。

2. 財務に関する件

1. 第16期予算編成にあたり、本部事務局移転費用捻出のため事業および管理費において大幅な縮小予算を余儀なくされた。新事務所移転後はI T化を考慮した効率的な運用を図りたい。

2. 予算・決算に関して

① 予算の提出期限の厳守と内容の精査を密にする。

② 財務処理を今まで以上に合理化し、予算の適切な執行を管理するにあたり、収支予算報告の義務を厳守する。

③ 決算処理の迅速化を図る。

3. 事業に関する件

1. 調査・研究 事業

写真業界のデータベース作成ならびにメンテナンスを行う。

2. 研修・セミナーに関する事業

① デジタルハンドブック

デジタルハンドブックは原則的に毎年発刊する。14年・15年に引き続き今年 で3年目となる。会員には無料配布を原則とし、2冊以上必要とする場合は 有料となる。

② 写真指導員派遣事業の研究

各地の教育委員会等呼びかけ、全国各地の中・高等学校写真部の指導者を指導するためA P A会員を無料で派遣し、社団法人としての使命を課すとともにA P Aを全国的に認知させることを目的としたい。本年度は1～2地区をモデルケースとして研究する。

③ 関西支部セミナー

写真界とは少し異なる世界のスペシャリストを招いてセミナーを開催する。

3. 知的所有権の確立に関する事業

① 著作権問題を扱っている(社)コンピュータソフトウェア著作権協会の情報モラル委員会のサポートメンバーになり、これからのブロードバンド時代に備える。情報の収集や問題解決に協力関係を築いてゆく。

② 日々変化する写真著作権の情報や、それを取り巻く環境の研究のために、 セミナーへの出席や図書購入などを行う。特に広告写真分野において研究する為に広告業界との接点をもつ。

③ 著作権相談室を毎月1回開催し、会員の写真著作権問題の相談を受けける。 ④ 外部者の相談もルールを決めて当たる。訴訟に至った場合には、支援体制 をとり担当弁護士と連携してこれに当たり、事例を会員や社会に向けて発表 する。

⑤ 著作権相談室で扱った事例報告により、侵害の予防と対策を会員とともに 考え著作権の啓蒙と実践を図るためにA P A著作権レポートを社会に向けて 広く発行する。年1回20ページほどの小冊子。

4. 展覧会の開催

① 第33回A P A公募展の開催

公募展がオープン形式となってから4回目の開催となる。東京展は東京都写真美術館が予定されているが、巡回展会場については現在進行中である。併設で開催しているポスター試作展は、J A G D Aの後援を得て5～10名で作品制作を行う。

② 2004年新入会員展の開催

平成16年度入会の正会員全員参加により、札幌、仙台、東京、名古屋、大阪、福岡での開催を予定し、東京、大阪でオープニングセレモニーを行う。

また、新入会員展では次の事項を討議し実行する。

会期・会場は下記の予定で行う。

東 京	：平成16年11月 5 日～平成16年11月17日	富士フォトサロン東京
九 州	：平成16年11月30日～平成16年12月10日	富士フォトサロン福岡
関 西	：平成16年12月17日～平成16年12月23日	富士フォトサロン大阪
中 部	：平成17年予定	富士フォトサロン名古屋
北海道	：平成17年予定	富士フォトサロン札幌
東 北	：平成17年予定	キャノンサロン仙台

③ 北海道支部展の開催

「wake up vol-3」展と題して、下記の日程で開催を予定している。

東川展：平成17年 3 月予定 東川町文化ギャラリー

札幌展：平成17年 3 月 8 日～平成17年 3 月13日 札幌市フォトライブ画廊

④ 東北支部展の開催

会期、会場については現在進行中である。

⑤ 中部支部展の開催

富士フォトサロン名古屋にて下記の日程で開催を予定している。

平成17年 2 月27日～平成17年 3 月 3 日 富士フォトサロン名古屋

⑥ 関西支部展の開催

「美しい地球大好きVOL. 7」として平成17年 2 月富士フォトサロン大阪にて開催を予定している。

⑦ 九州支部展の開催

(テーマ)未来へ「写真表現の可能性」と題し、平成17年1月アクロス福岡市民交流ギャラリーにて開催を予定している。

5. 出版及び情報の提供 事業

① 「年鑑日本の広告写真2006」の募集を平成16年 9 月頃より行い、平成17年の発刊を予定している。

② 写真情報誌「瞬」を年 4 回季刊(4 月・7 月・10 月・1 月)発行する。

③ A P A ニュースを年 6 回隔月発行する。(4 月・6 月・8 月・10 月・12 月・2 月)

④ 情報公開、対外的広報、会員相互の情報伝達に役立て、また今年度は支部ページを開設しウェブサイトのさらなる内容充実を図る。

⑤ 九州支部年報を発行する。平成17年 1 月発刊予定。

⑥ デジタル情報とその管理をシステム化するための準備に入る。

6. 内外関係機関との交流 事業

① PPA（プロフェッショナル・フォトグラファーズ・オブ・アメリカ）、韓国APA（KAPA）、中国撮影家協会等海外写真団体との情報交換を密にし交流を深める。

② 法人賛助会員及び協力企業との懇談会・協会事業説明会を開催し関係各位との交流拡大を図る。

③ 総会時懇親会、賀詞交歓会及び北海道・東北・関西・中部・九州の各支部においては名詞交換会等を開催し、関係機関及び関連団体との交流を深める。

7. 広告写真会館建設 事業

① 平成15年度は不動産取得は時機尚早であるとの専門家の意見により暫く様子を見ることとなったが、引き続き具体的な物件について検討する。

② 会館建設準備金積立は引き続き行う。又会館建設募金活動として募金者にAPAの特製バッジを贈る。会館建設をより具体化することを目的として告知していく。

補：事業計画・収支予算に関しての担当理事・担当委員

統括：会長・藤井秀喜： 副会長・安達洋次郎、長友健二 総括：専務理事・小川勝久

○総務に関する件 総務部長：理事・光 幸國

副 部 長：能津喜代房、渡邊英昭

担当委員：川部米応・山口敏郎

支 部 長：藤倉孝幸、杉山親生、秋田淳之助、石崎 治、青松吉植

巻口迪彦、森一六正、前野 漠、北川英雄、東島治男

○財務に関する件 財務部長：常務理事・北岡 悟

副 部 長：大屋徳亮・林 憲治

○調査・研究事業に関する件 事業部長：常務理事・根本 毅

○研修会・セミナー事業に関する件 事業部長：常務理事・根本 毅

○知的所有権事業に関する件 知的所有権部長：常務理事・柳澤俊次

副 部 長：理事・飯泉博基

副 部 長：堀切保郎

担当委員：石田研二、小杉俊幸、瀬尾太一

○展覧会事業 事業部長：常務理事・根本 毅

副 部 長：常務理事・友田富造

副 部 長：小島由起夫、杉野 譲、永島洋一、中村成一、林 和道

2003年新入会員展担当委員：林 和道、沖田浩之、g a m i、阪口 克、
出水恵利子

○出版・情報の提供 出版情報部長：常務理事・江口友一
副部長：西 直樹、伏見行介
担当委員：江面俊夫

○内外交流 総務部長：理事・光 幸國
副部長：能津喜代房、渡邊英昭
担当委員：川部米応、山口敏郎

○会館建設 部長：会長：藤井秀喜
副部長：理事・進藤博信、
担当委員：副会長：安達洋次郎、長友健二 専務理事：小川勝久
常務理事・北岡 悟、理事：光 幸國